

日本木材学会地域木材産業研究会の発足及び第一回研究会の開催

日本木材学会地域木材産業研究会 代表幹事

広島県立総合技術研究所林業技術センター 藤田和彦

1. はじめに

日本木材学会公設機関委員会において「木材学会における公設機関の役割 - 地域産業や地域社会に貢献」をテーマに各方面から検討を重ねてきましたが、2011年3月で閉会となりました。学会先輩諸氏が積み上げられてきた公設機関委員会における成果や連携も、このままでは存続できない状況となりました。

そこで、2011年3月17日最終の公設機関委員会において、日本木材学会に新たに研究会を立ち上げて産・学・官の会員全体で、このテーマに取り組もうという結論に達しました。公設機関委員会メンバーから幹事、発起人（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州各地域から1名）、また各発起人から会員予定者を募りました。その後6月に「地域木材産業研究会」（会員予定者数42名）設置願を提出し、7月に承認されました。

これを受けて、第一回研究会を10月13日に岡山県において開催しましたので、「地域木材産業研究会」の設立趣旨と第一回研究会の概要について報告いたします。

2. 設立趣旨

「地域木材産業研究会」の設立趣旨はつぎのとおりです。

「木材の利用促進に向けて、政府が率先して木材利用を推進し、同時に地方公共団体や企業等も主体的な取組を行っている現状において、日本木材学会員は、木材関連産業ひいては社会の持続可能な発展に重要な役割を果たしています。

しかし、各地域における取組では学会員の貢献は認められるものの、小規模・分散化の傾向で、地域の木材産業活性化は道半ばの感があり、個々の努力では限界があると考えられます。

そこで、地域の木材関連産業の活性化手法を検討する研究会を設立し、産・学・官の学会員が密接な連携を図る仕組みを構築して研究や情報交換を行い、その成果を効率的かつ効果的に日本全国の地域木材関連産業に反映させることが重要であると考えます。」

3. 第一回研究会の概要

平成10月13日17時から岡山市の「ピュアリティまきび」において、参加者41名のもと「地域木材産業活性化のために研究会はどう取り組むか」をテーマに、第一回研究会を開催しました。地元から、院庄林業株式会社豆原義重氏、銘建工業株式会社中島浩一郎氏にも参加いただきました。研究会では、まず代表幹事が「研究会の趣旨と発足までの経緯」について説明し、その後、秋田県立大学木材高度加工研究所飯島泰男所長から「地域木材産業研究会に期待すること」について講演いただきました。

4. 講演概要

講演内容は、つぎのとおりです。

- ・「地域」は県というエリアに固定しないで、もう少し、広い範囲で考えること。
- ・産学官の連携事例の失敗例も出して紹介すること。
- ・専門分野に細分化されがちなので、分野の総合化の機能を担うこと。
- ・対象範囲は広く捕まえること。
- ・公設試から学会には参加し易くなったが、研究成果の論文化が不十分である。形として残すことが大事である。
- ・外部資金獲得の事例出しもすること。
- ・木材学会には各支部があるが、支部と当該研究会の活動は、方向が違うのか否か検討すること。
- ・他の学会や協会と情報の共有化が必要である。
- ・企業からの依頼試験は通常公表しないので、今後は成果となるよう配慮すること。
- ・研究会は会員相互が知りあい、日常的な話のできる場所とすべきである。



写真1 講演時の会場の様子

5. 意見交換

講演後、意見交換を行いました。

公設試研究員の専門性、合宿による勉強会の有効性、地域と外国とのネットワーク、研究会の運営方法などについて意見が出されました。

また、研究会終了後には、懇親会を開催しました。それぞれの地域木材産業に対する思いや意見を出し合い、また情報交換で岡山の夜は更けて行きました。

6. おわりに

日本木材学会地域木材産業研究会は発足したばかりです。当研究会は、情熱を持って地域の木材関連産業活性化に向けて活動します。読者の皆様、研究会に入会いただき、力を結集して頑張りましょう。

研究会会員申し込み、問い合わせについては、つぎのとおり広島県立総合技術研究所林業技術センター 藤田和彦 までお願いいたします。

申し込み・問い合わせ先：

〒728-0013 広島県三次市十日市東4丁目6-1

広島県立総合技術研究所林業技術センター 藤田和彦 宛

Tel : 0824-62-9750 (FAX 兼用)

E-mail : mokuzaikkento@pl.pionet.ne.jp